

令和7年度 西区認知症普及啓発講演会

認知症とともにポジティブに生きる 三橋昭 講演会＋幻視画展

を開催します！

西区では、「認知症にやさしいまち・西区」を目指し、認知症になっても自分らしく西区で心穏やかに暮らせるよう、レビー小体型認知症※当事者である三橋昭さんを講師にお招きし、認知症普及啓発講演会を開催します。初めて幻視を見た時の衝撃と認知症の診断を乗り越え、「せっかく見えた幻視」と楽しく共生されている三橋さんのお話をお聞きし、認知症観を変えるきっかけにいただければと思います。

※認知症の種類の一つで、脳にレビー小体という物質がたまることで、脳の細胞が損傷を受けて発症します。記憶障害や実際にはないものが見える幻視、パーキンソン症状が現れるのが特徴です。

開催概要

日時：令和7年10月27日（月）14時～15時15分（開場13時～）

場所：横浜美術館レクチャーホール（西区みなとみらい3-4-1）

講師：三橋 昭 氏

2019年にレビー小体型認知症の診断を受け、ほぼ毎日見える幻視を、イラストとともに日記に書いています。

対象：西区在住・在勤の方（先着200名）

内容：講師による認知症との向き合い方についての講演

レクチャーホールホワイエにて講師の幻視画展

申込受付：9月29日（月）9時より受付開始

電話またはFAXにて西区高齢・障害支援課までお申込み下さい。

電話：045-320-8410

FAX：045-290-3422

※FAX送信票はチラシ裏面にあります。

※手話通訳が必要な方は10月17日（金）までに要申込。



『麒麟模様の馬を見た』



『撫でてあげようとして手を伸ばした途端にたまちゃんの中に手がすっと入って行っちゃったんです。』

※取材をご希望の場合は10月24日（金）までに下記お問合せ先へご連絡ください。

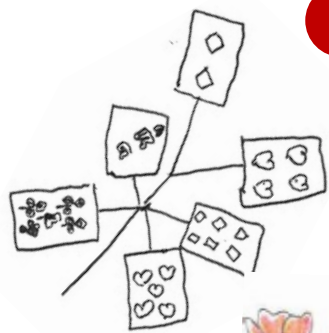
お問合せ先

西区高齢・障害支援課長 池田 範央 Tel 045-320-8403



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



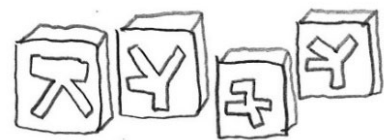
対象：
西区在住
/在勤の方

入場無料

要予約
先着200名

『撫でてあげようとして
手を伸ばした途端に
たまちゃんの中に手がずっと
入って行っちゃったんです。』

目覚めると 幻視が 見えるんです



『麒麟模様の
馬を見た』



レビー小体型認知症をもつ
三橋昭さんが、ほぼ毎日、
目覚めとともに見る幻視を
書きとめたイラストの中から、
約30点を展示します。
同時開催する講演会では、
認知症や幻視への向き合い方
がきっと変わることでしょう。
ぜひご参加ください。

認知症とともにポジティブに生きる

三橋昭 講演会 + 幻視画展

10/27 月 14:00～15:15
(開場は13:00)

横浜美術館 レクチャーホール
(西区みなとみらい3-4-1)



三橋 昭 みつはしあきら

1949年生まれ。高校卒業後、すぐに映画の助監督をする。その後会社員、自営業を経て、2007年より2021年まで区立図書館の館長（指定管理者）を務める。

2019年にレビー小体型認知症と診断され、ほぼ毎日見える幻視をイラストとともに日記を書いている。

お申込み お電話またはFAXにて（9月29日受付開始・先着順）
※手話通訳の必要な方は10月17日までに要申込み

TEL **045-320-8410** FAX 045-290-3422

主催：西区役所 高齢・障害支援課 共催：横浜美術館

認知症とともにポジティブに生きる 三橋 昭 講演会＋幻視画展 参加申込

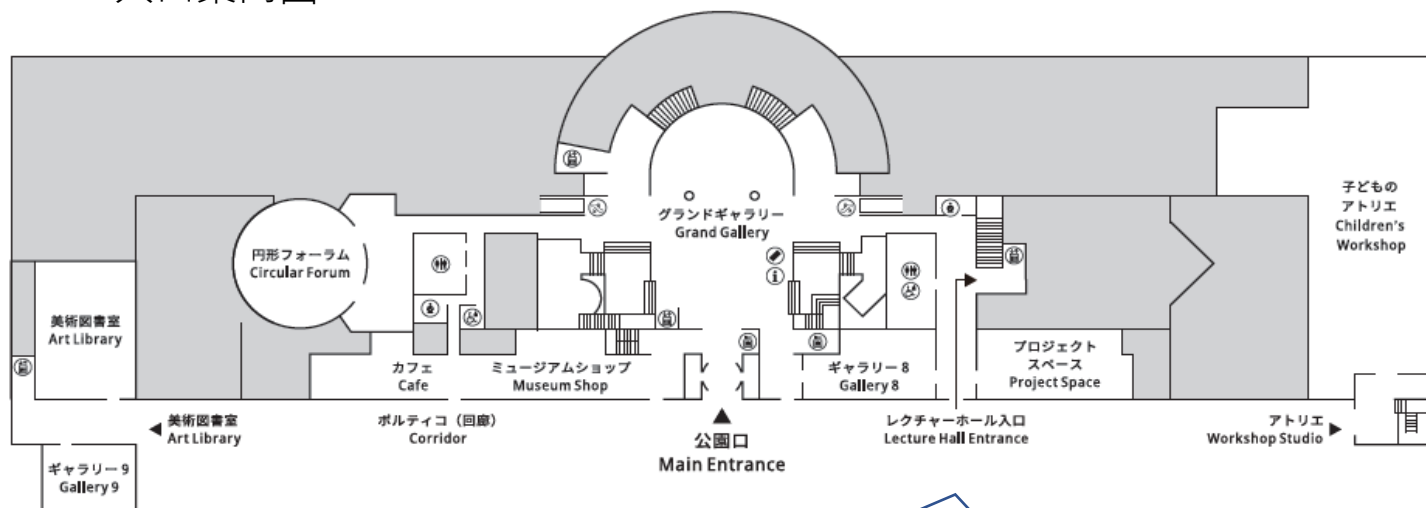
(受付開始；9月29日～ 先着順)

西区役所 高齢・障害支援課 認知症事業担当 宛
FAX番号 045-290-3422

お名前	連絡先	備考（該当するものがあれば○で囲んで下さい）
		車椅子 ・ 手話通訳
		車椅子 ・ 手話通訳



< 入口案内図 >



(グランモール公園側)

※メインエントランスではなく、レクチャーホール専用の入口からお入りください